

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式						
AM14Z001	医療倫理学 (MedicalEthics )					導入教育科目 社会・経済	対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態					
必修	1	1	医学部医学科 先進医療科学 科	前期	月3	日本語		単独					
担当 教員	氏名 今井 浩光 E-mail imaih@oita-u.ac.jp 内線 5600												
授業 の 概 要	医療における倫理を学ぶ基礎として、倫理の概念、倫理の歴史と代表的な倫理理論の考え方を学習する。それを元に、社会における医療の意味、医療に求められる倫理、望ましい医療者患者関係などについても、学びを深める。												
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7
目標1	倫理学の歴史と代表的な倫理理論を説明できる。												
目標2	社会における医療の意味について説明できる。												
目標3	医の倫理、望ましい医療者患者関係について説明できる。												
目標4													
目標5													
目標6													
目標7													
目標8													
目標9													
目標10													
各DPへの関連度(計10)							2			7	1		
授業の内容													
1	倫理学の基礎、倫理的判断のあり方												
2	生命の価値、尊厳、社会と個人のあり方												
3	規範倫理学1(徳の倫理学)												
4	規範倫理学2(帰結主義)												
5	規範倫理学3(義務論)												
6	権利について(権利論)												
7	法と倫理												
8	患者の権利												
9	医の倫理の歴史												
10	プロフェッショナリズムと医療者の責務												
11	医療者患者関係とインフォームド・コンセント												
12	ケアの倫理												
13	動画コンテンツ視聴												
14													
15													
ラ イ ク ニ テ イ グ ブ	A:知識の定着・確認	倫理的なジレンマを生む状況について、自らの考察をまとめ、レポートを作成する。少人数でのグループディスカッションにて多様な考え方があること、多面的な考察の重要性を学ぶ					工 夫 そ の 他 の	動画コンテンツを利用する。					
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修	新聞、テレビ、インターネットなどのメディアを通じて、倫理的な課題を含む社会の出来事に常に関心を持つ(15h)											
	事後学修	関心を持った事例について、授業で学習した知識、考え方をを用いて、考察する(15h)											
	想定時間合計	30											
教科書	資料を配布する												
参考書	指定しない												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	試験	90%										
	レポート	10%										
注意事項												
備考												
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の実務 経験	附属病院の医師											
実務経験を いかした教 育内容	医療現場で起こる倫理的ジレンマを講義の題材とする。											